

保育園自己評価表

2021年度

園名 まあむキッズ相模大野南口

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に笑顔で挨拶が出来る子 ・やってみようという気持ちを持って積極的にチャレンジする意欲がある子 ・友だちや異年齢との関わりの中で協力して達成する経験を通して思いやりの気持ちを育む。 <p>【達成度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策で保育者はマスクを着用しているため表情が伝わりにくい中でも子ども達と元氣よく挨拶したりすることで安心でき、笑顔が見られた。 ・子ども達の遊びや興味に焦点を置いて活動を行うことにより色々な事に意欲的に活動し、できないことにもチャレンジしてみようとする姿が見られた。 ・毎日の習慣や遊びの中で子ども達のやろうとする気持ちを大切にし、それを促すことでやる気を引き出せるようにした。 ・コロナ禍の中、実施数は少なかったが縦割り保育の機会がありその中でお互いを刺激しあったり、思いやりを持って関わる姿があった。その中で年上の子に憧れて挑戦をしたり、困っている子や年下の子に優しく言葉をかけたり助けようとする姿が継続して見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、異年齢でのクラス交流の実施が困難を極めた。状況に応じ職員会議や連絡ボードを用いて各クラスの様子など職員間で共有することが出来ていた。 ・子どもが安心して過ごせるよう保育士間でのコミュニケーションを密に行うことで、困ったことや相談など伝えやすい雰囲気があった。情報共有などすぐに行うことが出来たことで、互いに助け合えるように心がけることが出来た。 ・主任・非常勤職員を効率的に配置することで、事務作業の負担を軽減し、保育の質の向上を意識しながら職員同士が主体的に園運営に関わる気持ちを持つことが出来た。 ・内部研修において「育みたい資質、能力の3本の柱」「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の再確認を行い保育計画の充実を図るとともに職員のそれぞれが思う子どもの姿を伝え合うことで園の特徴を捉え、次年度の園目標につなげることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で地域イベントの参加がほとんど行われず、発表の場や交流の機会がとれずに残念であった。 ・散歩の際、道を譲ってくれた方々に「ありがとうございます」「おはようございます」など挨拶することで地域の方々とコミュニケーションをとることが出来ていた。 ・商業施設などたくさんの人が働いている場所や工事現場、駅など散歩中に会える職業に興味を持てるように言葉がけをすることで自分たちの暮らす町や人を知る機会を設けた。 ・スイミング、体操教室など外の施設で活動する機会があった。皆が気持ちよく過ごせるためにはどうすればよいか、参加する際のマナーや態度等指導を行い公共の場での過ごし方を伝えることで近隣の方々に受け入れてもらえるよう心掛けた。

この評価のつけ方：

施設長・主任による各職員への聞き取り